

浦幌町立博物館だより

2023(令和5)年11月号

編集・発行:浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



農具資料の動態保存



「唐竿(からさお)」で大麦を脱穀してみる体験者たち



足踏み式脱穀機を親子で回転させて脱穀を試みる体験者

動かして保存する

資料を実際に動く状態で保存することを「動態保存」といいます。これに対して、動かない状態での保存は「静態保存」といいます。

釧路では毎年、冬になると蒸気機関車が運行されていますが、あれが動態保存であり、公園などで展示されている機関車が静態保存ということになります。

当館では、いくつかの農機具については、動態保存を実施しています。これまでは石臼などの限られた資料のみでした。しかし今年度から「重複資料」を持つ農機具を新たに動態保存化することを試んでいます。

今年から新たに動態保存活用を試みたのは、「唐竿(からさお)」と「足踏み式脱穀機」、扇風機(農業用)です。

唐竿は、木や鉄で出来た棒状の農具で、棒先を振り回すことで反動を付けて落とし、ムギやソバなどを叩いて身を落とすものです。「くるり棒」「連枷(れんか)」など地方によってはさまざまな名称があります。

動態保存の意味

動態保存には「体験」という教育効果以外にも、さまざまな意味があります。実際に動いている様子を記録することや、当時実際に使っていた人たちの動かし方のコツ、修理の方法を知る、などです。もちろん、部品の摩耗により大切な資料を失う危険もあることから、動態保存には見極めも必要です。試行錯誤しながら、活用の幅を広げていきたいと思っています。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

健康湯最後の日の資料



2023年3月31日に営業を終了した公衆浴場健康湯。これは、その入館券を販売していた券売機の集計表です。

「23年3月31日18時24分」が、最後の最後であることを示しています。この日、健康湯は早じまいで、18時閉店でした。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『お札になった21人の偉人なるほどヒストリー』



河合 敦/監修・著 こどもくらぶ/編
あすなろ書房

2022年2月15日発行

我々の生活と切っても切れない関係のお札(紙幣)。そのお札に描かれている偉人はいったいどんな人物で、どんなことをしたのでしょうか?

本著では、1881年に、日本で初めて誕生した肖像画紙幣から2024年に発行が予定されている新紙幣に登場する、日本の偉人21人が紹介されています。

是非昔と今のお札を比べてみてください。

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)

【配架場所】

児童書 でんき
分類 281カ



11月の博物館お知らせ

企画展

モニタリングサイト1000里地調査

帯広百年記念館企画展

晩成社パネル展

11月16日(木)

11月28日(火)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

主催:帯広百年記念館運営連絡協議会



豊北植物調査会

日時: 11月4日(土) 9:00~12:00

集合: 浦幌町立博物館

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

毎月第1土曜日に開催している月例調査観察会です

夜学講座

本別町歴史民俗資料館見学会

「十勝縦断生物誌」を振り返る

11月8日(水) 19:00~20:00

講師: 持田誠(当館学芸員)

入場無料・申し込み不要



2023年夏に帯広百年記念館で開催された企画展「十勝縦断生物誌」を振り返り、あらためて十勝の自然を考えます。

「町の食品工場をさぐる」展見学会

11月11日(土) 13:00~17:00

場所: 本別町歴史民俗資料館・北糖工場跡地周辺

集合: 浦幌町立博物館 13:00集合/17:00解散予定

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

本別町歴史民俗資料館で開催中の企画展「町の食品工場をさぐる」を見学に行き、解説いただけます。閉鎖となった「北糖」や、いまなお稼働中の明治乳業明治の工場の歴史が紹介されています。

協力: 本別町歴史民俗資料館

フォーラム「フランスから考える民俗資料の収集保存と活用方法」を開催

2023年10月31日、神奈川県横浜市のニュースパーク(日本新聞博物館)を会場に、フォーラム「フランスから考える民俗資料の収集保存と活用方法」が開催され、当館からも事例報告を行いました。

このフォーラムは、科学研究費助成事業「『民俗資料』の収集保存基準と検索名称の開発:工場部品から日記まで」(研究代表者:宇仁義和 東京農業大学)の一環で開催したもので、当館学芸員も共同研究に参加しています。

アリス・ベルトン氏(グルノーブル・アルプ大学)からフランスの博物館制度や資料保存の実際に関する貴重な事例を紹介いただいた他、本間浩一氏(慶応義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所)が収蔵資料目録のメタデータ分析の事例や必要性について報告しました。当館学芸員からは、地方博物館における実態報告と、課題の解決へ向けた試案の提示を行いました。



総合討論を行なう。左から宇仁義和氏、本間浩一氏、アリス・ベルトン氏、当館の持田学芸員。

入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

11月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

休館日: 月曜日・祝日の翌日

11月30日(木)は、資料整理休館日です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)

駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp